



様々な環境のもとで育つ子どもたちと日々を過ごす中、心が温まる子どもたちの思いやり場面に出くわすことがある。

11月の終わり、Aちゃんがお気に入りの小さな消しゴムを砂利石の中で無くし、しくしくと泣いていた。近くの席の子が「休み時間に一緒に見つけてあげるよ。」と慰めた。休み時間開始とともに、12、3人の子どもたちが、Aちゃんが無くした消しゴムを捜しに教室を飛び出した。北風が吹く寒い中、子どもたちは、砂利石の中に埋もれた小さな消しゴムを必死で見つけまわった。残念なことに消しゴムは見つからなかったけど、Aちゃんには、クラスメートの温かい思いやりの気持ちが伝わった。12月半ば、B君が給食中、よそ見をしていて、飲みかけの牛乳瓶を倒してしまった。机の上にも、床にも白い牛乳が一面に広がった。あっけにとられる本人を前に、このアクシデントを撃した子どもたちが10人ほど雑巾を手

に持ち、汚れた床を一齐に拭き出した。こぼした牛乳の処理は、わずか2分ほどできれいに片付いてしまった。B君は照れながら、みんなに「ありがとう。」と感謝の言葉を述べた。

1月のある日、Cちゃんがごはんの入った容器を誤って落としてしまった。運悪くふたが開いてごはんのほとんどが床にこぼれてしまった。困って泣くばかりのCちゃん。この光景を見ていた上級生が6、7人、こぼれたごはんを拾い出した。ごはんのつぶが手についてペトペトになりながら、夢中でごはんを拾い、最後は床をきれいに拭いてくれた。

困っていたり、失敗をした友だちを助けることは道徳の授業で取り上げられる内容で、当然のことかもしれない。けれど、休み時間や給食時間を返上しての手助けは、賞賛に値する思いやりある行動で、回りの雰囲気も温かいものにしてくれる。こうした子どもたちの何気ない思いやりの場面をみると、不況で社会全体が沈む中、希望の光を見つけたようでも安心する。

このような優しい心を持つ子どもたちが、大きくなっても人とのつながりを大事に出来る社会を私たち大人がしっかりと作っていかなくてはと思う日々である。

子どもたちが未来に明るい希望が持てるように努力していきたいと思えます。

伝言板

富士・東部保健福祉事務所(富士・東部保健所)

特定不妊治療費助成事業

この制度は、医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる特定不妊治療(体外受精か顕微授精)を受けられたご夫婦に、費用の一部を助成するものです。治療終了日の年度内(3月31日まで)に申請してください。

対象者

○夫婦のどちらかが富士・東部地区に住所を有する方

○特定不妊治療以外の治療法では、妊娠の見込みがないなどと診断された法律上の婚姻をしている夫婦

○夫婦の所得合計額が730万円未満
対象となる治療

県が指定した医療機関(24機関)で受けた治療(体外受精か顕微授精)

助成額

1回の治療につき10万円を限度に、年度2回まで助成(通算5年間)します。

その他

申請書類などはホームページをご覧ください。ただ、お問い合わせください。

問合せ・申請先

健康支援課 ☎0555(24)9034

犬の放し飼い

最近、犬の放し飼いに関する苦情が増えています。犬の放し飼いは、条例で禁止されています。飼い主が大丈夫だと思っても他人に恐怖や危害を与えたり、交通事故をまねいたりします。つないで飼いましょう

運動不足でかわいそうだから、散歩をする代わりに放してもいいのでしょうか?近所では、飼い犬の糞尿で迷惑をかけています。また、通りかかった人に飛びつくかも知れません。散歩の時にも放さない

自分から離れないからリードがなくとも大丈夫、うちの子に限っていたずらはしないと思いませんか?

飼い主にとっては可愛く、手馴れていても、周囲からは野放しされている怖い犬だと思われているかも知れません。また、万が一の時にリードで制御できないと、事故につながる恐れもあります。周囲への配慮を欠かさず、ルールを守って愛犬の面倒を見ましょう。

問合せ 衛生課

☎0555(24)9033